



平成 19 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 総合商研株式会社  
代表者名 代表取締役会長 加藤 優  
(JASDAQ・コード 7850)  
問合せ先 取締役企画管理本部長  
原田 正之  
電話番号 011-780-5677(代表)

## 平成 19 年 7 月期中間（非連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 7 月中間期（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日）の業績予想について、平成 18 年 9 月 25 日付当社「平成 18 年 7 月期決算短信（連結）」及び「平成 18 年 7 月期 個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。なお、当期より連結対象子会社がないことから非連結での業績となります。

### 1. 平成 19 年 7 月期中間業績予想の修正

（1）中間期（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	5,400	430	310
今回修正（B）	5,570	543	372
増減額（B－A）	170	113	62
増減率	3.1%	26.3%	20.0%
（ご参考）前期実績 （平成 18 年 7 月期中間）	5,101	413	486

### （2）修正理由

当社は、当中間期におきましては、競争力の強化を目標に、企業体質の一層の強化を図るべく、「収益力の向上」「販売促進支援機能の強化」「財務体質の強化」を重要施策に掲げ、営業基盤の強化及び収益拡大策を展開してまいりました。

その結果、年賀状印刷事業につきましては、名入れ年賀状の取扱件数が 778 千件と大幅増加（前年同期比 23.4%増）したこと、商業印刷事業は、東京支社を中心とした本州圏の売上高が新規取引及び既存取引先の受注拡大により前年同期比 11.9%増となったことで、売上高は、当初予想に対し 170 百万円増の 5,570 百万円（前年同期比 9.2%増）となる見込みであります。

一方、利益につきましては、年賀状印刷の工程管理の強化による人件費等の抑制及び各事業における総体的なコスト管理を推進した結果、経常利益は、当初予想に対し 113 百万円増の 543 百万円（前年同期比 31.3%増）と大幅な増益となる見込みであります。

当期純利益につきましては、法人税等の計上が 149 百万円、税効果会計による繰延税金資産 7 百万円の取り崩し等はあったものの、当初予想に対し 62 百万円増の 372 百万円（前年同期比 23.4% 減）となる見込みであります。

## 2. 平成 19 年 7 月期通期（非連結）業績予想

平成 19 年 7 月期通期業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第、別途発表させていただきます。

尚、配当につきましては、当初計画どおり、中間期での配当は行わず、期末に一株あたり 15 円の配当を予定しております。

以 上